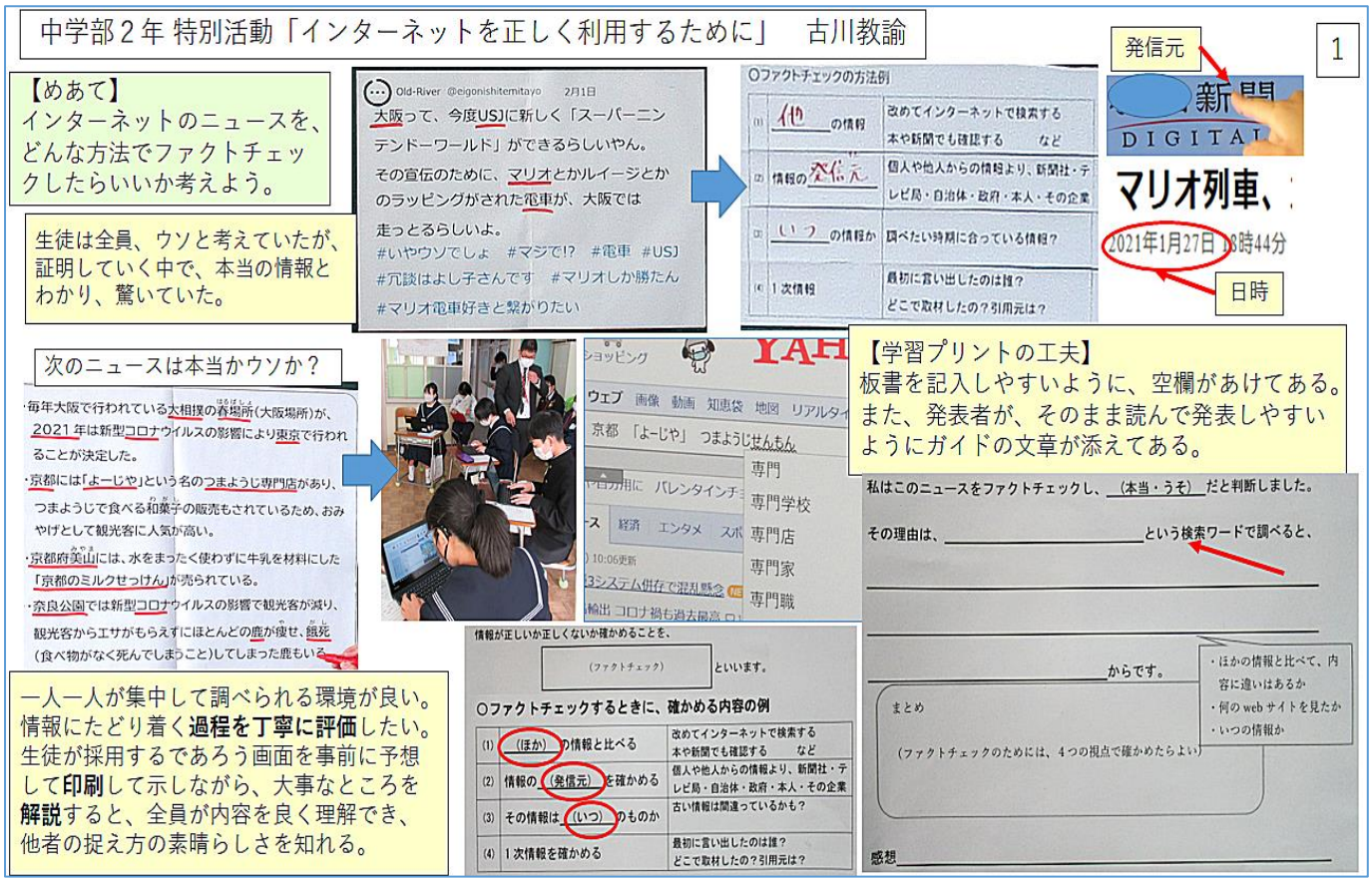
若年者（初任者）研修の公開授業・研究協議会がありました。

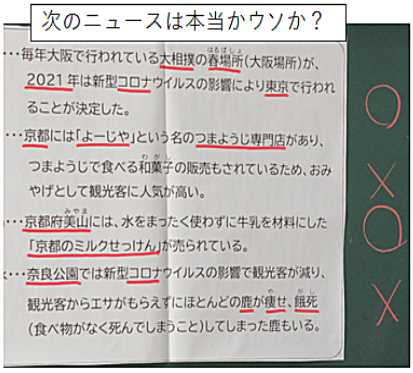
令和３年２月４日（木）　篠原校長

２月３日の３校時に、中学部２年特別活動の授業研究会がありました。「インターネットを正しく利用するために」を題材にしています。子ども達のほとんどが利用しているパソコンやスマートフォンのインターネット等の機能は便利ですが、使い方を間違うととても怖いものとなります。生徒達も「LINE等でのすれ違い」「迷惑メールの受信」の経験があるようです。社会問題として「ワンクリック詐欺被害」「個人情報の流出」「自撮り写真の強要被害」「ネット上で知り合った人との直接対面」「デマやフェイクニュースの蔓延」等があり、今後、巻き込まれる可能性もあります。

教育の中で、正しい判断ができる子ども達を育てていく必要があります。今回の授業では、提示された情報が本当かウソかを見極める方法について学習しています。そして、情報発信の際に、「本当に発信していいのか」と内容や言葉を慎重に確認する意識を育てました。



次のニュースは本当かウソか？


…毎年大阪で行われている大相撲の春場所(大阪場所)が、2021年は新型コロナウイルスの影響により東京で行われることが決定した。

…京都には「よーじや」という名のつまようじ専門店があり、つまようじで食べる和菓子の販売もされているため、おみやげとして観光客に人気が高い。

…京都府美山には、水をまったく使わずに牛乳を材料にした「京都のミルクせっけん」が売られている。

…奈良公園では新型コロナウイルスの影響で観光客が減り、観光客からエサがもらえずにほとんどの鹿が痩せ、餓死(食べ物がなく死んでしまうこと)してしまった鹿もいる。

中学部２年 特別活動「インターネットを正しく利用するために」古川教諭

2

ファクトチェックをどの様に行ったのかを明らかにして、発表させ確認するべきです。

発表者が、表に記入する。卓上で発表用紙に書いて表に貼らせる。等の作業を入れて、論点を明確にする。

	発信元	いつの情報	いくつ調べた	本当・ウソ
大相撲				○
よーじや				×
ミルクせっけん				○
奈良の鹿				×

この情報を共有することが、本時の重要な学習内容です。
正偽の判断の根拠を「見える化」して示し、共有する必要がある。

＜問題１＞
「よーじや、鹿」の２つのウソの情報をツイッターにアップしたら、あっという間に多くの人に拡散してしまいました。この後、どのような事件や、困ったことが起こってしまうでしょうか。**想像**したことをたくさん書いてください。

・本当だと信じた人がわざわざ京都まで行ってしまう。
・和菓子等を買いたい人が増えてきて、もしウソだったら怒ると思う（がっかり）
・「よーじや」の店がツイッターで炎上するかもしれない。
・たくさんの問い合わせや注文などの電話が来て、お店は大変な迷惑になる。
・「よーじやって化粧じゃないの？爪楊枝なんだ買おう」等、信じてしまうと店の人が困る。
・誤解されることが多い。間違えている商品が来たらクレームがたくさん来ると思う。

・そのことを知って餌をあげに行く人が増えるかもしれない。（それで密になったり）
・奈良公園の関係者にたくさんの電話やメールが来る（例えば、何で餌をあげないのか）
・本当だと思い込み、うわさや正しくない情報が広がって、次々にツイッターで人が言ったことを信じてしまって、鹿が死んだと思って花をもっていく人もいるかもしれない。
・鹿の餓死の様子が怖い人や悲しむ人が、しばらく奈良公園に行けなくなる。
・かわいそうと思えてくる。店の人にクレームが来たら困っている状態になる。

＜問題２＞
このように、一度インターネット上にアップしてしまうと消せなくなり、嘘の情報が、あたかも本当の情報のようにどんどん拡散されてしまい、いろいろな不幸なことが起こってしまいます。
これらを防ぐためには、どうしたらいいでしょうか。

・きちんと情報を確認してからアップしたらいいと思う。
・アップする前に文章の中身を確認する。
・ちゃんとした情報を調べたり、多くの友達に聞いてみればいい。
・誤解な情報を本当なのかと疑って調べる。
・その情報は正しいのか、もう一回調べる。
・本当なのか確かめるために、調べてみる。もう一度確認をする。
・誤解されやすい言葉がないか、確認する。

授業の最後で「ウソの情報が拡散したらどうなる」と追加の課題を出しました。「**想像力**」を働かせる課題はとても重要です。不適切な行動を抑制する**鍵**となります。